

駐日メキシコ大使

メルバ・プリーアさん

# 男女議員同数 社会変わった



現職。使、シティ生まれ。駐インド大使を経て、19年から

MELBA · PRIA

メキシコ

女性候補者の数が十分ではなかった時代、たとえ政策的に賛同できなくても私は女性に投票し続けた。それが私の意思だからだ。育児や家の役割は依然女性に偏り、女性が政治家を目指す壁にもなっている。政府や制度だけに頼るのではなく、社会全体で女性が意思決定の場にいることを強く求め続けることが不可欠だ。

初の女性議員が誕生したのはユカタン州で1923年。連邦レベルでの女性の参政権が認められたのは30年後だ。決して平たんで短い道のりではなかったことが分かる。だが、マチズモ（男性優位主義）が浸透する社会でパリテを実現した私たちの経験は、困難であっても一歩一歩、着実な変化を推し進めれば変革できることを示す。

メキシコは2018年に連邦議会におけるパリテ（男女同数）をほぼ達成した。昨年は女性のシェインバウム大統領が誕生している。社会全体の強い「変革への意思」と、長期的で段階的な努力の積み重ねが実現させた。原動力は法律改正だけではなく、社会の慣習をも変えようとする包括的なアプローチにあった。

左の記事を読んで、下の問い合わせに答えましょう。

1 傍線部の、パリテを実現させたのはどんな力ですか。次の文の空欄に、本文中から適語を抜き出して入れましょう。

原動力は、法律だけでなく

も変えようとする

強い意志で、長期的で段階的な

の積み重ねが実現させた。

2 メキシコは特にマチズモ（男性が女性より優れているという考え方）が強い国でしたが、政治の場に女性が増えるきっかけとなった制度は何ですか。本文中から抜き出して書きましょう。

3 空欄ABにはそれぞれ「性別」「政策」のどちらが入りますか、書きましょう。

A	B
---	---

# NIEワークシートのこたえ（2025年12月25日公開）

◆ワークシート「メキシコ男女議員同数(社会)」  
2025.12.25付 朝刊 11面 解答

- 1 社会の慣習 努力
- 2 クオータ制
- 3 性別 政策